

## 下野市都市交通マスタープラン検討委員会 議事録

審議会等名 令和2年度 第1回下野市都市交通マスタープラン検討委員会  
日 時 令和2年8月5日(水) 午前10時00分～午前11時30分  
会 場 下野市役所2階 203会議室  
出席者 長田 哲平 委員、山田 博 委員、山本 隆 委員、山中 宏美 委員  
渡邊 欣宥 委員、原 貞夫 委員、石田 陽一 委員、塩田 和也 委員  
保坂 和夫 委員、荒川 弘幸 委員、江面 貴之 委員、大櫛 寛之 委員（代理 柴  
崎聡 街路係長）、井上 啓 委員（代理 計画課 福田 祐司 専門官）  
谷 英夫 委員、吉川 浩 委員、嶋田 幸男 委員、小島 悟 委員  
角田 佳子 委員、茂木 正行 委員、野澤 等 委員  
【欠席委員】神谷 雅美 委員  
市側出席者 広瀬 寿雄 市長、直井 満 安全安心課長、小野 洋一 主幹  
（事務局）瀧澤 卓倫 建設水道部長、伊澤 仁一 都市計画課長  
篠崎 国男 課長補佐、飯野 博之 副主幹、倉井 豊和 主査  
古味 龍一 技師  
株式会社 建設技術研究所（計画策定コンサルタント）  
公開・非公開の別（  公開 ・  一部公開 ・  非公開 ）  
傍聴者 1名  
議事録（概要）作成年月日 令和2年 月 日

《※以降は会議次第に基づき記載する。》

### 【協議事項等】

- 1 開 会 〈事務局〉
- 2 市長あいさつ 〈広瀬 寿雄 市長〉
- 3 委嘱状交付  
広瀬寿雄 市長より委員（代表：長田 哲平 委員）に交付
- 4 自己紹介 〈出席者・市側出席者〉
- 5 委員長・副委員長選任

### 事務局

委員長及び副委員長の選出は、下野市都市交通マスタープラン検討委員会設置要綱（以下「要綱」と言う。）第5条第1項において委員の互選と規定されている。市長の進行により選出をお願いする。

### 広瀬 寿雄 市長

選出方法について諮りたい。

### 荒川 弘幸 委員

事務局案があれば伺いたい。

### 広瀬 寿雄 市長

事務局案を聞くことに異議はあるか。

**委員全員**

異議なし。

**広瀬 寿雄 市長**

事務局の発言を求める。

**事務局**

委員長に長田 哲平 委員、副委員長に山中 宏美 委員を提案する。

**広瀬 寿雄 市長**

事務局の提案に異議はあるか。

**委員全員**

異議なし。

**広瀬 寿雄 市長**

委員長に長田 哲平 委員、副委員長に山中 宏美 委員が選出された。

**事務局**

市長は、公務のため退席する。

(広瀬 寿雄 市長 退席)

委員長に選出された長田 哲平 委員にあいさつをお願いする。

**長田 哲平 委員長**

(あいさつ)

**6 議 事**

**事務局**

議事の前に、配布書類と会議の成立について報告をする。

**【配布書類】**

- ・ 令和2年度第1回下野市都市交通マスタープラン検討委員会次第
- ・ 下野市都市交通マスタープラン検討委員会名簿
- ・ 下野市都市交通マスタープラン検討委員会設置要綱
- ・ 資料 下野市都市交通マスタープラン検討委員会 第1回 (以下「資料」と言う。)

**【会議の成立】**

成立の要件：半数以上の委員の出席 (要綱第6条第2項)

委 員 数：21名 (半数=12名)

出席委員数：20名 (>12名)

成立・不成立の別： 成立 ・ 不成立

報告は以上。議事進行は、要綱第6条第1項の規定に基づき、長田 哲平 委員長にお願いする。

**長田 哲平 委員長**

はじめに、議事録署名人を指名する。名簿順で3番 山田 博 委員と4番 山本 隆 委員にお願いする。

議事に移る。議題(1)都市交通マスタープランの検討方針について、事務局の説明を求める。

## 事務局

(資料 p 2～7 により説明)

### 【追加説明：交通実態調査について】

10月に実施予定であるが、平時の状態での調査をする必要があるため、新型コロナウイルス（以下「コロナ」と言う。）感染拡大による交通への影響を注視して実施の可否を検討する。ただし、平日の駅利用者数は平時に近似しつつあり、通勤通学も平常に行われていると考えられることから、緊急事態宣言発令等の大きな要因がなければ予定通りの実施を見込んでいる。

## 長田 哲平 委員長

議題（1）について質問を求める。

（質問なし）

質問なしと認め、議題（2）都市・交通の概況、（3）交通実態調査の概要に移る。事務局の説明を求める。

## 事務局

(資料 p 8～27 により説明)

## 長田 哲平 委員長

議題（2）、（3）について質問を求める。

## 野澤 等 委員

(資料 p 27 関係)

交通意識アンケート調査の問2について、鉄道の利用頻度を尋ねているが、コロナ感染拡大防止に係る意識の高まりから平時と異なる結果になると予想される。計画策定の基礎データとしては妥当性に疑問を感じるため、コロナ感染拡大前という前提で調査をすべきではないか。

## 事務局

鉄道の利用頻度については令和元年度に実施の「公共交通に関するアンケート調査」で同様の調査をしているため、その結果を平時のデータとして使用する。

また、問34でコロナ感染拡大前後の外出頻度の変化を尋ねているため、この結果からコロナ感染拡大による交通への影響を確認する。

## 荒川 弘幸 委員

(資料 p 20・24 関係)

交通実態調査の調査規模（配布数）の根拠を伺いたい。パーソントリップ調査と交通意識アンケート調査で数が異なるのはなぜか。

## 事務局

統計的手法を用いて、各調査の結果が一定の誤差の範囲で得られるよう必要サンプル数を算出している。配布数は、過去の経験値に基づく回収率から、各調査の必要サンプル数が確保できる数を算出している。回収率は、各調査で異なるため、配布数も異なる。

## 長田 哲平 委員長

各調査の対象者に重複はあるか。

## 事務局

対象者の負担を考慮し重複は避けている。同様の理由から、先述の公共交通に関するアンケート調査とも重複を避けている。

**渡邊 欣宥 委員**

(資料 p 10 関係)

J R 3 駅周辺の市街化区域内に誘導する都市機能として自治医大駅周辺には複合コンベンション施設を指定しているが、市として具体的な計画があるのか伺いたい。

**事務局**

立地適正化計画において今後誘導していくべき施設として指定しているものであり、具体的な建設計画等がある訳ではない。

**長田 哲平 委員長**

(資料 p 20・24 関係)

交通実態調査の実施予定は10月としているが、コロナ感染拡大による調査中止の判断はいつまでにするのか。

**事務局**

現在、県内でも感染者の増加率が高まり、警戒レベルが感染拡大注意に引き上げられる等、感染拡大の進行は余談を許さない状況にある。調査中止判断の時期は難しいところであるが、計画策定の基礎データとしての妥当性が担保されるよう、調査実施の適否については慎重に検討していく。

**長田 哲平 委員長**

その他、議題(2)、(3)について質問を求める。

(質問なし)

質問なしと認め、議題(4)その他に移る。事務局の説明を求める。

**事務局**

次回の会議は12月の開催を予定している。主な議題が交通実態調査の結果となるため、調査実施の如何が会議開催の要否にも影響する。調査中止の折には市ホームページで周知をするとともに、委員宛てに会議開催の方向性について案内をする。

**長田 哲平 委員長**

議題(4)について質問を求める。

(質問なし)

質問なしと認める。議題は以上であるため、議事は終了とし会議の進行を事務局に返す。

**7 閉 会 〈事務局〉**